

プロポーザルによる受託候補者選考結果票

以下の業務について、プロポーザルにより選定した受託候補者と契約締結したので、選考結果を公表いたします。

1 対象業務

業務名	会津若松市本庁舎保存活用計画及び庁舎整備行動計画作成等業務委託		
委託期間	平成29年 6月 1日 ~ 平成30年 3月23日	担当課	企画調整課
契約の相手方	株式会社三菱地所設計 東北支店	契約締結日	平成29年 6月 1日

2 提案等の審査結果

審査日	提案書審査	平成29年 5月25日	ヒアリング審査	平成29年 5月25日
選考委員名	<ul style="list-style-type: none"> ・市岡 綾子 (学校法人 日本大学工学部 専任講師) (五十音順、敬称略) ・竹内 樹美 (福島県建築士会会津支部 女性委員会 委員長) ・棚木 ひろみ (会津若松市企画政策部企画調整課 協働・男女参画室長) ・堤 洋樹 (公立大学法人 前橋工科大学工学部 准教授) ・寺内 秀也 (会津若松商工会議所 専務理事) ・藤森 佐智子 (会津若松市健康福祉部 企画副参事) ・松川 和芳 (会津若松市建設部 建築課長) 			
審査方法	<p>選考委員7名全員が出席し、提案者2社からのプレゼンテーション(提案説明)及びヒアリング(質疑応答)により提案内容を確認した後、評価要領に基づいて各委員が個別に評価を行った。</p> <p>選考委員7名中、7名の委員が最高の評価点を付与した参加者を受託候補者として選定した。</p>			
選評	<p>受託業者については、2社ともに建築や歴史的な建造物の保存等に関する経験、実績が豊富であり、非常に高い技術力を有していることを確認した。</p> <p>その上で、2社の二次審査の選評を以下に記述する。</p> <p>最優秀者(受託候補者): 株式会社三菱地所設計 東北支店 会津若松市の地域特性を踏まえながら、歴史的な建造物である本庁舎旧館の保存活用と新たな庁舎の整備との関係、そこに関わるコンストラクション・マネジャー(以下、CMR)の役割などについて、わかりやすく、かつ的確な提案がなされた。 また、仕様書に沿って、スケジュールと具体的な内容を明確に示しており、CMRとして将来を見据えた的確な支援が期待できる相応しい提案がなされた。</p> <p>最優秀者以外: A社 歴史的な建造物の保存等の事例を紹介しながら全体的に丁寧な提案がなされた。また、保存活用を検討する本庁舎旧館と新庁舎との関係性など、庁舎整備のイメージを交えながらの提案であったが、本市の地域特性や地元への配慮が伝わりにくく、一般的な庁舎整備に関する内容であり、CMRとして行うべき業務内容が不明確であった。</p>			

3 選考結果

参加者名	評価点					最高点採点者数又は合計点
	1: 業務実施方針 (ア) 本業務に対する提案者の取り組み方針	2: 業務実施方針 (イ) 各業務担当チームの体制と特徴	3: 業務実施方針 (ウ) 業務上配慮する事項	4: 業務提案 【テーマ1】 本庁舎旧館の耐震劣化補完調査のポイント、保存活用計画検討のポイント、基本計画段階以降における保存改修工事の管理のポイントについて	5: 業務提案 【テーマ2】 庁舎整備行動計画検討のポイントについて	
A社	26	60	52	81	52	0人／7人中
株式会社 三菱地所設計 東北支店	32	60	68	96	60	7人／7人中

※ 各参加者は受付順に記載しています。評価点は、審査項目ごとの審査委員の合計点です。